

平成26年第1回定例会

一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
3 月 11 日	1	佐川 勇司	無 所 属
	2	緑川 栄一	無 所 属
	3	岡部 淳一	日本共産党
	4	佐藤 一夫	無 所 属
	5	鈴木 一郎	無 所 属
	6	高木 節男	無 所 属

古殿町議会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	4 番 佐川 勇司	1. 平成 26 年度主要事業について (答弁者: 町 長)	(1) バイオガス発電の基礎調査事業で今後、どのような構想か。 (2) 古殿材ブランド化及び町産材商品開発事業について、林業活性化に向け大きく期待するものですが、今後の取り組みはどうか。 (3) 才竜内石神線について福祉施設への利用度も高く、交通量も増加にある重要路線であります。近年落石箇所が数か所あり危険と思われます。本年度の整備内容と今後の計画はどうか。 (4) 旧愛宕団地の跡地活用と今後の取り組みは。また、保育所施設の今後に向けた活用の考えは。冬期間対応優先の高齢者等向け集合住宅活用の考えはどうか。
2	1 番 緑川 栄一	1. 除雪対策は (答弁者: 町 長)	(1) 現在の町の除雪体制は。 (2) 建設業者への借上げ料の充当は。 (3) 各路線の優先順位は。
		2. 幼保一体化施設について (答弁者: 町 長)	(1) 一体化施設西側のブロック積及び法面の安全確認調査は。 (2) 伐採法面の保護及び利用計画は。 (3) 送迎駐車場の安全対策は。
3	7 番 岡部 淳一	1. 徐染計画の実施状況及び雪害対策 (答弁者: 町 長)	(1) 仮置場のパイプハウス設置及び堆肥・稲ワラの搬入状況。又、大雪の被害や影響はなかったのか (2) 徐染計画に基づく今後の対策、取り組み内容は何か。 (3) 大雪による施設及び農作物の被害状況と被害に対しての支援体制は具体的にどうなるのか。
		2. 幼保一体施設による運営のあり方 (答弁者: 町 長)	(1) 幼稚園児童の預り保育の中で、土曜日等も実施してほしいとの保護者のニーズに応えるべきと思うが、出来ないとすれば理由は何か。 (2) 保育料の体系を変えるとの話がありますが、本当なのか変えるとすればどのように変えるのか。 (3) 保育士・先生及び臨時職員の配置はどうなるのか。 (4) 給食費の徴収はどうなるのか。
		3. 重点事業の考え方と進め方	(1) 公民館改修は当初の説明から大きく変化しながら実施されようとしている。なぜ、内容が変化し、1年以上も時期がずれ込んだのか。 (2) 改修事業は結果として財政支出が大幅に増額となった

順序	質問者	質問事項	要 旨
3	7 番 岡部 淳一	(答弁者: 町 長)	<p>が、この点についてどう考えているのか。</p> <p>(3) 体育館改築は検討委員会での協議を参考にしたと思われるが、委員会は何を目的として協議し、その結果はどう生かされたのか。</p> <p>(4) 全員協議会での協議内容と事業の進め方に大きな解釈の違いがあり、議会の意思が生かされていないと思われるが、どう考えているのか。</p> <p>(5) いずれの事業も町民の目線からは慎重を期して対応すべきと思うが認識は。</p>
		4. 介護保険給付内容の変更に対する考え方と対応 (答弁者: 町 長)	<p>(1) 今後の給付内容の変更は、これまでと具体的に何が変わるのか。</p> <p>(2) この変更についての認識は。</p> <p>(3) 訪問・通所介護など要支援者向けサービスが介護保険給付から外された場合、町としてどう対処することになるのか。</p>
4	11 番 佐藤 一夫	1. 第 6 次振興計画の中間評価について (答弁者: 町 長)	<p>(1) 第 6 次振興計画策定時である、平成 22 年度から本年までの経過と振興計画の重要性・役割について、どう捉えているのか。</p> <p>(2) 振興計画と具体的施策との関連性について、どう評価しているのか。</p> <p>(3) まちづくりアンケート調査による、町民のニーズ等も含め、後期基本計画に基づく実施に向け、どのような取り組みをなされるのか、考えを伺います。</p>
5	2 番 鈴木 一郎	1. 農林業の振興について (答弁者: 町 長)	<p>(1) 耕作放棄地は現在、何ヘクタールあるのか。</p> <p>(2) 耕作放棄地の今後の対応は。</p> <p>(3) 有害鳥獣対策及び捕獲隊員の対応は。</p> <p>(4) 森林再生事業の取り組みについて。</p> <p>(5) 県の森林環境税の利用状況について。</p> <p>(6) 千年の森育成事業 P R の為に、展示林を設けてはどうか。</p> <p>(7) 森林資源を活用した雇用の創出と、具体的な町の活性化対策はなにか。</p>
6	5 番 高木 節男	1. 定住促進策について	<p>(1) 地理的条件や地域の特性から定常人口の推測をどのように予測しているのか。</p> <p>(2) 若者の定住を後押しする支援策は。</p> <p>(3) 婚活支援策の新たな取り組みは。</p> <p>(4) 共働き子育て世代の支援策は。</p> <p>(5) 限界集落の捉え方と支援策は。</p>